簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	D-ソルビトール末		白	粉末	×	○	最小通過サイズ14Fr	D-ソルビトール経口液に変更
	KCL末		白	粉末	○			
	L-ケフレックス小児用顆粒			顆粒	×		胃溶性粒＋腸溶性粒	
	PL配合顆粒	合剤	白	粉末	○			
	PZC（ピー・ゼット・シー）糖衣錠	2mg	白	糖衣錠	○			
	SG配合顆粒	1g	白	顆粒	○			
	ＳＭ配合散	合剤	茶	粉末	○			
	TS1配合カプセルT	20mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		25mg	白/オレンジ	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	TS1配合OD錠T	20mg	淡青緑	口腔内崩壊錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		25mg	淡橙	口腔内崩壊錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	UFT配合カプセルT	100mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	UFT E配合顆粒T	150mg	白	顆粒	×	×	抗がん剤	曝露防止策が必要。ＵＦＴ配合カプセルTへ変更
	アーチスト錠	1.25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		2.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		10mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アーテン散	1%	白	粉末	○			
	アーテン錠	2mg	白	素錠	○			
	アイトロール錠	20mg	白	素錠	○			
	アカルディカプセル	1.25mg	橙	カプセル	○			
	アキネトン散	1%	白	粉末	○			
	アキネトン錠	1mg	白	素錠	○			
	アクトス錠	15mg	白	素錠	○			
	アサコール錠	400mg	茶	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可
	アザルフィジンEN錠	500mg	黄褐	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可
後発	アジルサルタン錠「武田テバ」	10mg	微黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		20mg	微赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	アジルバ錠	10mg	微黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		20mg	微赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アズノール錠	2mg	淡青	素錠	○			
	アスパラK錠	300mg	白	素錠	×	×		グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	アスピリン原末		白	粉末	○			
	アスペノンカプセル	20mg	オレンジ	カプセル	○			
	アスベリン散	10%	オレンジ	粉末	○			
	アスベリン錠	20mg	オレンジ	素錠	○			
	アセトアミノフェン原末		白	粉末	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	アセトアミノフェン錠「マルイシ」	200mg	白	素錠	○			
後発		300mg	白	素錠	○			
後発		500mg	白	素錠	○			
	アゼプチン錠	1mg	白	糖衣錠	○			
	アダプチノール錠	5mg	赤	糖衣錠	×	×	光に不安定	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	アダラートCR錠	20mg	赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	他のＣａ拮抗薬へ変更
	アダラートL錠	20mg	赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	他のＣａ拮抗薬へ変更
	アダラートカプセル	10mg	オレンジ	カプセル	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他のＣａ拮抗薬へ変更
	アタラックスＰカプセル	25mg	緑	カプセル	○			
後発	アテノロール錠「トーワ」	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アデホスコーワ顆粒	1.0g/P	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	アデホスコーワ腸溶錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	腸溶性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	アデムパス錠	0.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アテレック錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アドシルカ錠	20mg	淡茶	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アドソルビン原末		淡灰	粉末	○			
	アドナ錠	10mg	オレンジ	素錠	○			
		30mg	オレンジ	素錠	○			
後発	アトルバスタチン錠「DSEP」	5mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	アトルバスタチン錠「日医工」	5mg	ごくうすい紅	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アナフラニール錠	25mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		10mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	アプレゾリン錠	50ｍｇ	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	アプレピタントカプセル「サワイ」	80mg	白	カプセル	○			
後発		125mg	淡赤/白	カプセル	○			
	アベロックス錠	400mg	淡灰赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アボルブカプセル	0.5mg	淡黄色	軟カプセル	△		①経皮吸収の恐れ（催奇形性あり） ②内包物が疎水性	経管投与の推奨せず やむを得ず投与する場合は、曝露防止策が必要
	アマリール錠	1mg	ピンク	素錠	○			
		3mg	淡黄	素錠	○			
後発	アミオダロン速崩錠「TE」	50ｍｇ	白	素錠	○			
後発		100mg	白	素錠	○			
	アミティーザカプセル	24μｇ	淡橙	軟カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	アムロジピンOD錠「サワイ」	2.5mg	淡橙	素錠	○			
後発		5mg	淡橙	素錠	○			
後発	アムロジピンOD錠「明治」	2.5mg	淡黄	素錠	○			
後発		5mg	淡黄	素錠	○			
後発	アムロジピンOD錠「トーワ」	5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		2.5ｍｇ	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
	アメナリーフ錠	200mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アモキサンカプセル	25mg	白/ピンク	カプセル	○			
	アモキサン細粒	10%	白	細粒	○			
後発	アモキシシリンカプセル「トーワ」	２５０ｍｇ	茶/白	カプセル	○			
	アモバン錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アリセプトD錠	3mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
		5mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	アリナミンＦ錠	25mg	黄	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	アリミデックス錠	1mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アルケラン錠	2mg	白	素錠	○			
	アルサルミン内用液	1g/10mL	白	液	○			
	アルダクトンA細粒	10%	白	細粒	○			
	アルダクトンA錠	25mg	白	素錠	○			
	アルタットカプセル	75mg	白	カプセル	×	△	内容物が徐放性	他のH_2拮抗薬を推奨。（最大で）10分放置すれば投与可
	アルドメット錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アルファロールカプセル	0.25μg	茶	カプセル	○			
		1μg	クリーム	カプセル	○			
	アレグラ錠	60mg	淡橙	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アレジオン錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アレジオンドライシロップ	1%	白	ドライシロップ	○			
	アレビアチン細粒	10%	白	細粒	○			
	アレビアチン錠	100mg	白	素錠	○			
	アレロックOD錠	5mg	淡橙	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アローゼン顆粒		黒	顆粒	×	○	最小通過サイズ14Fr	センノシド（調剤室粉砕）に変更
	アロシトール錠	100mg	白	素錠	○			
	アロフト錠	20mg	白	糖衣錠	○			
後発	アロプリノール錠「タナベ」	100mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	アロマシン錠	25mg	白	糖衣錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	アンカロン錠	100mg	白	素錠	○			
	アンギナール散		黄	粉末	○			
	アンコチル錠	500mg	白	素錠	○			
	アンプラーグ錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	アンプリット錠	25mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	アンブロキソール塩酸塩錠「サワイ」	15mｇ	白	素錠	○			
後発	アンブロキソール塩酸塩徐放ＯＤ錠「サワイ」	45mｇ	白	口腔内崩壊錠	○		内容物が徐放性	
	イーケプラ錠	500mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	イグザレルト錠	10mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		15mg	赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	イグザレルトOD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		15mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	イコサペント酸エチル粒状 カプセル「日医工」	900mg	透明	カプセル	○			
	イスコチン原末		白	粉末	○			
	イスコチン錠	100mg	白	素錠	○			
	イソプリノシン錠	400mg	白	素錠	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	イソミタール原末		白	粉末	○			
	イトリゾールカプセル	50mg	淡黄	カプセル	×	×		イトリゾール内用液に変更
	イフェクサーSRカプセル	37.5mg	淡灰/淡紅	硬カプセル	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		75mg	淡紅/淡紅	硬カプセル	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	イミダプリル塩酸塩錠「トーワ」	5mg	白	素錠	△		砕く	病棟で破砕して、（最大で）10分放置すれば投与可
	イムラン錠	50mg	白	素錠	○			
	イメンドカプセル	80mg	白	カプセル	○			
		125mg	淡赤/白	カプセル	○			
	イリボー錠	5μｇ	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	イレッサ錠	250mg	茶	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	インデラル錠	10mg	白	素錠	○			
	インヴェガ錠	3mg	白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		6mg	淡褐	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	インプロメン細粒		白	細粒	○			
	インチュニブ錠	1mg	淡緑白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		3mg	淡緑白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	インフリーSカプセル	200mg	クリーム	カプセル	○			
	ウインタミン細粒	10%	白	細粒	○			
	ウインタミン錠	25mg	ピンク	糖衣錠	○			
	ウテメリン錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ウプトラビ錠	0.2mｇ	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ウブレチド錠	5mg	白	素錠	○			
	ウラリット配合錠	合剤	白	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ウルグートカプセル	200mg	白	カプセル	○			
	ウルソ顆粒	5%	白	顆粒	○			
	ウルソ錠	100mg	白	素錠	○			
後発	ウルソデオキシコール酸錠「トーワ」	100mｇ	白	素錠	○			
	ウロカルン錠	225mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	エースコール錠	2mg	白	素錠	○			
	エカード配合錠LD	合剤	淡黄	素錠	○			
	エカード配合錠HD	合剤	淡紅	素錠	○			
	エクア錠	50mg	白	素錠	○			
	エクジェイド懸濁用錠	125mg	白	素錠	○			
	エクセグラン散	20%	白	粉末	○			
	エクセグラン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エクメット配合錠ＬＤ	合剤	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	エクメット配合錠ＨＤ	合剤	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	エサンブトール錠	250mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可 潮解性のため、調剤室での粉砕不適
後発	エスシタロプラムOD錠「トーワ」	10mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	エスゾピクロン錠「トーワ」	1mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エストラサイトカプセル	156.7mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	エゼチミブ錠「DSEP」	10mｇ	白	素錠	○			
後発	エソメプラゾールカプセル「ニプロ」	20mg	濃い青/ごくうすい黄赤	カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	エックスフォージ配合ＯＤ錠	合剤	白	口腔内崩壊錠	○			
	エックスフォージ配合錠	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	エチゾラム錠「アメル」	0.5mg	白/淡黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		１mg	白/淡黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エディロールカプセル	0.75μｇ	茶褐色	カプセル	○			
	エドルミズ錠	50mg	薄い黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	エナラプリルマレイン酸塩錠「トーワ」	2.5mg	うすい桃	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		5mg	うすい桃	素錠	○			
	エバステル錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エパデールEMカプセル	2g	微黄～淡黄透明	軟カプセル	×			イコサペント酸エチル粒状カプセルへ変更
	エパデールSスティック	900mg	透明	カプセル	○			
	エビスタ錠	60mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エピビル錠	15mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エビプロスタット配合錠ＤＢ	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	腸溶性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	エビリファイ錠	3mg	青	素錠	○			
		6mg	白	素錠	○			
	エビリファイＯＤ錠	6mg	白	素錠	○			
	エビリファイ内用液0.1%	3mg/3ml	無色透明	液	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	エフィエント錠	3.75mg	微赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	55℃のお湯で懸濁すると含量が低下する	常温の水で懸濁させる
		5mg	微黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	55℃のお湯で懸濁すると含量が低下する	常温の水で懸濁させる
	エフィエントOD錠	２０mg	微橙白	口腔内崩壊錠	○			
	エフメノカプセル	100mg	淡黄色	軟カプセル	×			
	エブランチルカプセル	15mg	白（青線）	カプセル	○			
	エベレンゾ錠	20mg	淡黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		50mg	淡黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	エホチール錠	5mg	白	素錠	○			
	エミレース錠	3mg	白	糖衣錠	○			
	エリキュース錠	2.5mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		5mg	桃	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エリスパン錠	0.25mg	白	素錠	○			
	エリスロシン錠	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	腸溶性、粉砕不可	エリスロシンドライシロップへ変更
	エリスロシンドライシロップW	20%	白	ドライシロップ	○			
	エルカルチンFF内用液10%分包	5mL	無色～微黄色澄明	液	○			
		10mL	無色～微黄色澄明	液	○			
後発	エルデカルシトールカプセル「トーワ」	0.75μg	茶褐透明	カプセル	×			簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	塩化カリウム		白	粉末	○			
	塩化カリウム徐放錠	600mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	塩化ナトリウム		白	粉末	○			
	塩酸バンコマイシン散	500mg	白	粉末	○			
	塩酸プロカルバジンカプセル	50mg	黄	カプセル	○			
	エンタカポン錠「サンド」	100mg	うすい黄赤～くすんだ黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	エンテカビル錠「YD」	0.5mg	白～微黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	エンドキサン錠	50mg	白	糖衣錠	×	×	抗がん剤 55℃→安定性に問題あり	曝露防止策が必要 簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難
	エンレスト錠	100mg	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	オーグメンチン配合錠250ＲＳ	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			潮解性のため、調剤室での粉砕不適
	オーラノフィン錠	3mg	白～帯黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	オキシコンチンTR錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	
		20mg	淡赤色	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	
		40mg	微黄白～淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	
	オゼックス錠	150mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	オゼックス小児用細粒	15%	淡ピンク	細粒	○			
	オダイン錠	125mg	白	素錠	○			
	オノンカプセル	112.5mg	白	カプセル	○			
	オノンドライシロップ	10%	淡黄	ドライシロップ	○			
	オメプラール錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	オラビ錠口腔用	50mg	白～微黄	付着錠	×	×	口腔用製剤	
後発	オラペネム小児用細粒	10%	ピンク	細粒	○			
後発	オランザピンOD錠「トーワ」	2.5mg	淡黄白	口腔内崩壊錠	○			
後発	オランザピンOD錠「明治」	5mg	黄	素錠	○			
	オルケディア錠	1mg	黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		2mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	オルミエント錠	2mg	淡赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		4mg	赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	オルメサルタンOD錠「DSEP」	10mg	白色～微黄白色	素錠	○			
後発		20mg	白色～微黄白色	素錠	○			
後発	オルメサルタンOD錠「トーワ」	20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	オルメテック錠	20mg	白	素錠	○			
	オルメテックＯＤ錠	20mg	白	素錠	○			
後発	オロパタジン塩酸塩OD錠「サワイ」	5mg	ごくうすい赤	素錠	○			
	オンジェンティス錠	25mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ガスコン錠	40mg	白	素錠	○			
	ガスターD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ガスター散	10%	白	粉末	○			
	ガストローム顆粒	66.70%	白	顆粒	×	×		他の防御因子増強薬（レバミピドなど）へ変更
	ガスモチン散	1%	白	粉末	○			
	ガスモチン錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	カソデックスOD錠	80mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	カタプレス錠	75μg	白	素錠	○			
	カナグル錠	100mｇ	うすい黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ガナトン錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	カナマイシンカプセル「明治」	250mg	淡黄	カプセル	○			
	カバサール錠	0.25mg	白	素錠	○			
		1mg	白	素錠	○			
	ガバペン錠	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	カフェイン		白	粉末	○			
	カプトリル錠	12.5mｇ	白	素錠	○			
後発	カモスタットメシル塩酸塩錠「トーワ」	100mg	白～微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	カリメート経口液20%	25g	微黄白～淡黄	液	○			
	カリメート散		白	粉末	○			
	カルグート錠	5mg	白	素錠	○			
	カルスロット錠	10mg	淡黄	素錠	○			
		20mg	淡橙黄	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	カルデナリンOD錠	1mg	淡黄	素錠	○			
		2mg	淡橙	素錠	○			
	カルナクリンカプセル	25mg	オレンジ/白	カプセル	×	×	内容物が徐放性	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	カルバマゼピン錠「アメル」	100mｇ	白～微黄白	素錠	○			
	カルビスケン錠	5mg	白	素錠	○			
	カルブロック錠	8mg	黄	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	カルベジロール錠「サワイ」	1.25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		2.5mg	白～微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		10mｇ	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	カルベジロール錠「トーワ」	1.25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		2.5mg	白～微黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		10mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	カルボシステイン錠「トーワ」	250mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	カログラ錠	120mg	白/帯黄白～帯黄緑白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	カロナール錠	200mg	白	素錠	○			
後発	カンデサルタン錠「あすか」	4mｇ	白	素錠	○			
後発		8mｇ	うすいだいだい	素錠	○			
後発	カンデサルタンOD錠「トーワ」	4mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		8mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	カンデサルタン錠「ファイザー」	4mg	白色～帯黄白	素錠	○			
後発		8mｇ	白色～帯黄白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	キネダック錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	キプレス細粒	4mg	白	細粒	○			
	キプレスチュアブル錠	5mg	淡赤	チュアブル錠	○			
	ギャバロン錠	5mg	白	素錠	○			
	グーフィス錠	5mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	クエチアピン錠「DSEP」	25mg	うすい赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		100mg	うすい黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	クエチアピン錠「トーワ」	100mg	うすい黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発		25mg	うすい黄みの赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	クエン酸第一鉄Ｎａ錠「サワイ」	50mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く、フェロミア顆粒の方が投与しやすい	病棟で破砕して投与可or長時間放置する
	グラクディブ錠	50mg	淡黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	グラケーカプセル	15mｇ	オレンジ	カプセル	○			
	グラセプターカプセル	0.5mg	淡黄/橙	カプセル	○			
	クラビット錠	250mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	グラマリール細粒	10%	白～微帯黄白	細粒	×	×		グラマリール錠へ変更
	グラマリール錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	クラリス錠	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	クラリスドライシロップ	10%	微赤白	ドライシロップ	○			
後発	クラリスロマイシンDS小児用「タカタ」	10%	微黄白～微褐色	微粒又は粉末	○			
後発	クラリスロマイシン錠「タカタ」	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	クラリスロマイシン錠「大正」	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△		病棟で破砕して投与可
	クラリチン錠	10mg	白	素錠	○			
	グランダキシン錠	50mg	白	素錠	○			
	クリキシバンカプセル	200mg	白	カプセル	○			
	グリチロン配合錠	合剤	白	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	クリノリル錠	100mg	オレンジ	素錠	○			
	グリベック錠	100mg	茶	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	グリミクロン錠	40mg	白	素錠	○			
	グルコンサンK細粒		白	細粒	○			
	グルファスト錠	10mg	白	素錠	○			
	グルファストＯＤ錠	10ｍｇ	微黄白	素錠	○			
	クレストール錠	2.5mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		5mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	クレメジン細粒分包	２ｇ	黒	細粒	○			
	クレメジン速崩錠	500mg	黒	素錠	○			顆粒が沈殿しやすい為軽く振とうしながら行う
後発	クロピドグレル錠「SANIK」	25mg	白～微黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		75mg	白～微黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	KCl徐放錠							
	ケーサプライ	600mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	ケーワン錠	5mg	黄	素錠	○			
	ケイキサレート散	5g	オレンジ	粉末	○			
	ケイキサレートドライシロップ７６％	764.5ｍｇ/	黄褐色	ドライシロップ	○			
	ケタスカプセル	10mg	白	カプセル	×	×	徐放性、腸溶性	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ケフラールカプセル	250mg	白・青	カプセル	○			
	ケフラール細粒小児用	100mg	うすい黄	細粒	○			
	ケフレックスCap	250mg	白～淡黄白	カプセル	○			
	コートリル錠	10mg	白	素錠	○			
	コートン錠	25mg	白	素錠	○			
	コスパノンカプセル	40mg	白/紅	カプセル	○			
	コディオ配合錠EX	合剤	薄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	コディオ配合錠MD	合剤	薄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	コニール錠	4mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	コペガス錠	200mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	コムタン錠	100mg	オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	コメリアンコーワ錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	コララン錠	2.5mg	うすい灰色	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	コランチル配合顆粒	合剤	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	コリオパンカプセル	5mg	白	カプセル	○			
	コルヒチン錠	0.5mg	青	素錠	○			
	コルベット錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	コレバイン錠	500mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	コントミン糖衣錠	25mg	白	糖衣錠	○			
	サーカネッテン配合錠	合剤	黒	糖衣錠	○			
	サアミオン錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ザイザル錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	サイトテック錠	200mg	白	素錠	○			
	ザイボックス錠	600mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	サイレース錠	2mg	白	素錠	○			
	サインバルタカプセル	20mｇ	ピンク./白	カプセル	×	×	内容物が腸溶性	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ザジテンカプセル	1mg	白	カプセル	○			
	ザジテンドライシロップ	0.10%	白	ドライシロップ	○			
	サムスカ錠	7.5mｇ	青	素錠	○			
		15mｇ	青	素錠	○			
	サムスカOD錠	7.5mg	青	素錠	○			
	サラジェン錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	サラゾスルファピリジン腸溶錠「日医工」	500mg	黄～黄褐	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に破砕すれば投与可
	サラゾピリン錠	500mg	暗オレンジ	素錠	○			
	サリグレンカプセル	30mg	白/黄	カプセル	○			
	サレドカプセル	100mg	白/橙	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	サワシリンカプセル	250mg	白/茶	カプセル	○			
	サワシリン細粒	10%	うすいだいだい	細粒	○			
後発	酸化マグネシウム錠「ヨシダ」	330mｇ	白	素錠	○			
後発	酸化マグネシウム錠「ヨシダ」	500mｇ	白	素錠	○			
	ザンタック錠	150mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可orファモチジンD錠へ変更
	サンリズムカプセル	50mg	白/青	カプセル	○			
	ジェイゾロフト錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ジェイゾロフトＯＤ錠	25mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
	ジェニナック錠	200mg/g	オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ジエノゲスト錠「キッセイ」	1mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	シグマート錠	5mg	白	素錠	○			
後発	シクロスポリンカプセル「トーワ」	25mg	黄白	カプセル	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発		50mg	淡黄白					

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ジゴキシン錠	0.25mg	白	素錠	○			
	ジゴシン散	0.10%	白	粉末	○			
	ジスロマック細粒小児用	10%	淡オレンジ	細粒	○			
	ジスロマック錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ジスロマックカプセル小児用	100mg	白/橙	カプセル	○			
	ジスロマックSR成人用ドライシロップ	2g	白	粉末または粒	○			
	シナール配合顆粒	合剤	淡黄	顆粒	○			
	シナール配合錠	合剤	淡黄	素錠	○			
	ジヒデルゴット錠	1mg	白	素錠	○			
	ジフルカンカプセル	100mg	橙	カプセル	×	×	水に不溶	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ジプレキサ錠	2.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ジプレキサザイディス錠	2.5mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
		5mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	シプロキサン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		200mg	白～淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	シベノール錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ジメチコン錠「YD」	40m g	白	素錠	○			
	ジャディアンス錠	10mg	淡黄色	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ジャドニュ顆粒分包	90mg	白	顆粒	○			
	ジャヌビア錠	50mg	薄赤黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	シュアポスト錠	0.25mg	淡赤	素錠	○			
		0.5mg	白	素錠	○			
	重カマ「ヨシダ」		白	粉末	×	○	最小通過サイズ14Fr	
後発	シロスタゾールOD錠「サワイ」	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	シロスタゾールOD錠「トーワ」	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	シロドシンOD錠「KMP」	4mg	淡黄赤色	口腔内崩壊錠	○			
	ジルテック錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ジルチアゼム塩酸塩徐放カプセル「日医工」	100mg	白	硬カプセル	×		徐放性	
	シングレア錠	10mg	灰黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	シングレアＯＤ錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	シンメトレル細粒	10%	白	細粒	○			
	シンメトレル錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	スーグラ錠	50mg	淡紫	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	スーテントカプセル	12.5mg	赤褐	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	スインプロイク錠	0.2mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	スクラルファート内用液10%「タイヨー」	1g/10mL	白	液	○			
	スタラシドカプセル	50mg	白/紫	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	スタレボ配合錠L	50mｇ	赤褐	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		100mｇ	赤褐	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ストロカイン錠	5mg	白	素錠	○			
	ストロメクトール錠	3mg	白	素錠	○			
後発	スピロノラクトン錠「トーワ」	25mｇ	白	素錠	○			
	スピロペント錠	10μｇ	白	素錠	○			
	スプリセル錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	スローケー錠	600mg	白	糖衣錠	×	×	徐放性、粉砕不可	グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	セイブル錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	セスデンカプセル	30mg	白/オレンジ	カプセル	○			
	ゼスラン錠	3mg	白	素錠	○			
	ゼチーア錠	10mg	白	素錠	○			
	セディール錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	セパゾン散	1%	白	粉末	○			
	セパゾン錠	1mg	白	素錠	○			
	セパミットR細粒	2%	淡黄	細粒	○			
	セファドール錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	セファランチン錠	1mg	白	素錠	○			
	ゼフィックス錠	100mg	淡橙褐	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	セフカペンピボキシル塩酸塩錠「サワイ」	100mg	うすい赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	セフゾンカプセル	100mg	ピンク	カプセル	○			
	セフゾン細粒小児用	10%	淡赤白	細粒	○			
	セララ錠	25mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	セルシン錠	2mg	白	素錠	○			
	セルセプトカプセル	250mg	淡青/淡赤茶	カプセル	○			
	セルニルトン錠	63mg	淡緑	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して、（最大で）10分放置すれば投与可
	セルベックスカプセル	50mg	緑/白	カプセル	○			
	セルベックス細粒	10%	白	細粒	○			
	ゼルヤンツ錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	セレキノン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	セレコキシブ錠「ファイザー」	200mg	白	素錠	△		砕く	病棟で破砕して、（最大で）10分放置すれば投与可
後発	セレコキシブ錠「DSEP」	100mｇ	白	素錠	○			
後発		200mｇ	白	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	セレコキシブ錠「VTRS」	100mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	セレコックス錠	100mg	白	素錠	○			
		200mg	白	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	セレジスト錠	5mg	白	素錠	○			
	セレスタミン配合錠	合剤	白	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	セレナール錠	10mg	白	糖衣錠	○			
	セレニカR細粒	40%	白	細粒	×	×	徐放性	バレリンシロップへ変更
	セレネース細粒	1%	白	細粒	○			
	セレネース錠	0.75mg	白	素錠	○			
		1mg	白	糖衣錠	○			
		3mg	白	糖衣錠	○			
	ゼローダ錠	300mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	抗がん剤、砕く	曝露防止策が必要 病棟で破砕して投与可
	セロクエル錠	25mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		100mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	セロクラール錠	20mg	白	素錠	○			
	セロケンＬ錠	120mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	セロケン錠へ変更
	セロケン錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ゼンタコートカプセル	3mg	うすい灰/くすんだ黄赤	硬カプセル	×	×		他のステロイド薬に変更
後発	センノシド錠「トーワ」	12ｍｇ	茶褐	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
後発	センノシド錠「NIG」	12mg	暗赤	糖衣錠	×			調剤時に粉砕すれば投与可
	ゾーミッグRM錠	2.5mg	ｵﾚﾝｼﾞ様白	素錠	○			
	ソセゴン錠	25ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ソタコール錠	40mg	微青	素錠	○			
	ゾフルーザ錠	10mg	白～淡黄白	素錠	○			
	ゾフルーザ錠	20mg	白～淡黄白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ソラナックス錠	0.4mg	白	素錠	○			
	ソランタール錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ソリタ-T配合顆粒2号	合剤	白	顆粒	○			
後発	ゾルピデム酒石酸塩OD錠「トーワ」	5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
	ダーブロック錠	2mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ダーブロック錠	4mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ダイアート錠	30mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		60mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ダイアモックス錠	250mg	白	素錠	○			
	ダイドロネル錠	200mg	白	素錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
後発	ダイフェン配合錠	合剤	白	素錠	○			
	タガメット錠	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	タケキャブ錠	10mg	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		20ｍｇ	微赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	タケプロンOD錠	15mg	白・赤橙の斑点	口腔内崩壊錠	△	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
		30mg	白・赤橙の斑点	口腔内崩壊錠	△	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
	タシグナカプセル	200mg	黄赤	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	タチオン錠	50mg	白	糖衣錠	○			
		100mg	白	糖衣錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	タナドーパ顆粒	750mg/ｇ	白	顆粒	×	×		簡易懸濁による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	タナトリル錠	5mg	白	素錠	○			
	タブネオスカプセル	10mg	不透明な橙/不透明な黄	カプセル	○			
	タベジール錠	1mg	白	素錠	○			
	タミフルカプセル	75mg	灰/黄	カプセル	○			
	タミフルドライシロップ	3%	白	ドライシロップ	○			
後発	タムスロシン塩酸塩OD錠「サワイ」	0.2mg	白	素錠	○			
後発	タムスロシン塩酸塩OD錠「トーワ」	0.2mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	タムスロシン塩酸塩OD錠「ファイザー」	0.1mg	白	素錠	○			
	ダラシンカプセル	150mg	肌/オレンジ	カプセル	○			
	タリージェ錠	2.5mg	淡赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		5mg	赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		10mg	淡赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		15mg	赤白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	タリージェOD錠	5mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		10mg	淡黄白	口腔内崩壊錠	○			
	タリオンOD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	タルセバ錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		150mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	炭カル錠	500mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	炭酸水素ナトリウム		白	粉末	○			
後発	炭酸ランタンOD錠「JG」	250mg	白～灰白	口腔内崩壊錠	○		残渣が溜まりやすい	
後発	炭酸リチウム錠「ヨシトミ」	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		簡易懸濁による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ダントリウムカプセル	25mg	オレンジ	カプセル	○			
	タンニン酸アルブミン		茶	粉末	○			
	タンボコール錠	50mg	白	素錠	○			
	チオラ錠	100mg	白	糖衣錠	×	×		簡易懸濁による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	チガソンカプセル	25mg	茶褐	カプセル	△	△	催奇形性あり	曝露防止策が必要
	チョコラA末	1万単位/g	茶	粉末	○			
	チラーヂンS散	0.01%	白	粉末	○			
	チラーヂンS錠	25μg	淡紅	素錠	○			
		50μg	白	素錠	○			
	沈降炭酸カルシウム		白	粉末	○			
	ツートラム錠	50mg	淡黄と白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	
		100mg	淡紅と白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	
		150mg	淡橙と白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	
	ツルバダ配合錠	合剤	青	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ディオバン錠	40mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		８０ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	デエビゴ錠	2.5mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		5mg	微赤黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	テオドール錠	50mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉砕不可	
		200mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉砕不可	
	テオドールドライシロップ	200mg/g	白	ドライシロップ	○			
	テオロング錠	100mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉砕不可	
	デカドロン錠	0.5mg	白	素錠	○			
		4ｍｇ	淡赤	素錠	○			
後発	デキストロメトルファン錠「NP」	15mg	白	素錠	○			
	テグレトール細粒	50%	白	細粒	○			
	テグレトール錠	100mg	白	素錠	○			
	デザレックス錠	5ｍｇ	うすい赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	デタントールR錠	3mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	デタントール錠に変更
	デタントール錠	1mg	白	糖衣錠	○			
	テトラミド錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	テネリア錠	20mg	うすい赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	テノーミン錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	デノタスチュアブル配合錠	合剤	白	チュアブル錠	○			
	デパケンR錠	200mg	白	糖衣錠	×	×	徐放性、粉砕不可	バレリンシロップへ変更
	デパス細粒	1%	白	細粒	○			
	デパス錠	0.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		1mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	テプレノンカプセル「トーワ」	50ｍｇ	灰青緑/淡橙	硬カプセル	○			
	テモダールカプセル	20mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		100mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	デュファストン錠	5mg	白	素錠	○			
後発	デュロキセチンOD錠「ニプロ」	20mg	僅かな黄褐色～赤褐色の斑点を有する白	口腔内崩壊錠	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉砕すれば投与可
後発	デュロキセチンOD錠「明治」	20mg	僅かな黄褐色～赤褐色の斑点を有する白	口腔内崩壊錠	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉砕すれば投与可
	テラナス錠	5mg	白	素錠	○			
	テラビック錠	250ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	テルネリン錠	1mg	白	素錠	○			
後発	テルビナフィン錠「ファイザー」	125mg	白～淡黄白	素錠	○			
後発	テルミサルタンOD錠「サワイ」	20mg	白～微黄	素錠	○			
後発		40mg	白～微黄	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	テルミサルタン錠「YD」	20mg	白～微黄	素錠	○			
後発		40mg	白～微黄	素錠	○			
後発		80mg	白～微黄	素錠	○			
後発	テルミサルタン錠「サワイ」	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		40mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	テルミサルタン錠「サワイ」	80mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可、（最大で）10分放置すれば投与可
後発	テルミサルタンOD錠「トーワ」	40mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	トアラセット配合錠「トーワ」	合剤	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トアラセット配合錠「日本臓器」	合剤	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トアラセット配合錠「三笠」	合剤	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	トアラセット配合錠「DSEP」	合剤	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	トウモロコシデンプン		白	粉末	○			
	ドグマチールカプセル	50mg	白	カプセル	○			
	ドグマチール細粒	50%	白	細粒	○			
	ドグマチール錠	50mg	白～帯黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トコフェロールニコチン酸エステルカプセル「トーワ」	100mｇ	頭部:赤 胴部:黄	カプセル	○			
後発	ドネペジル塩酸塩OD錠「サワイ」	3mｇ	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		5mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	ドネペジル塩酸塩OD錠「DSEP」	3mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		5mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	ドネペジル塩酸塩OD錠「トーワ」	3mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		5mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	トピナ錠	50mg	白	素錠	○			
	ドプスカプセル	200mg	白	カプセル	○			
	ドプスOD錠	200mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	トフラニール錠	10mg	あずき	糖衣錠	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		25mg	あずき	糖衣錠	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ドラール錠	15mg	淡橙	素錠	○			
	トラクリア錠	62.5mg	淡ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トラセミドOD錠「TE」	4mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	トラゼンタ錠	5mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トラゾドン塩酸塩錠「アメル」	25mg	白～淡黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トラネキサム酸カプセル「トーワ」	250mg	橙～淡黄	カプセル	○			
	トラゼンタ錠	5mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	トラベルミン配合錠	合剤	白	有核錠	○			
	トラマールＯＤ錠	25mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
		50mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	トラマドール塩酸塩OD錠「KO」	25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	トラムセット配合錠	合剤	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	トランコロン錠	7.5mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	トランサミンカプセル	250mg	白/橙	カプセル	○			
	トランサミン細粒	50%	白	細粒	○			
	トリテレンカプセル	50mg	緑/黄緑	カプセル	○			
	トリプタノール錠	10mg	青	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	トリンテリックス錠	10ｍｇ	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	トルバプタンOD錠「オーツカ」	7.5mg	青	素錠	○			
	トレドミン錠	15mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	トレリーフ錠	25mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	トロペロン細粒	1%	白	粉末	○			
	トロンビン細粒	5000単位	白	粉末	○			
	ナイキサン錠	100mg	白	素錠	○			
	ナイクリン散	10%	白	粉末	○			
	ナウゼリンOD錠	10mg	淡黄	素錠	○			
	ナウゼリン錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ナウゼリンドライシロップ	1%	白	ドライシロップ	○			
	ナゼアOD錠	0.1mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	ナフトピジルOD錠「タカタ」	50mg	白	素錠	○			
	ナルサス錠	2mg	うすい灰	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	
		6mg	うすい黄	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	
		12mg	淡赤	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	
	ニコチン酸アミド	10%	白	粉末	○			
後発	ニコランジル錠「日医工」	5ｍｇ	白	素錠	○			
	ニトロールRカプセル	20mg	白	カプセル	×	×	内容物が徐放性	ニトロール錠へ変更
	ニトロール錠	5mg	白	素錠	○			
	ニバジール錠	2mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ニフェジピンＣＲ錠「サワイ」	10ｍｇ	帯赤灰	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	他のＣａ拮抗薬へ変更
後発		20ｍｇ	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	他のＣａ拮抗薬へ変更
	乳酸カルシウム		白	粉末	○			
	乳糖		白	粉末	○			
	ニューレプチル散	10%	黄	粉末	○			
	ニューロタン錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ニンラーロカプセル	3mg	明るい灰	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ネオーラルカプセル	10mg	白	カプセル	○			
		25mg	白	カプセル	○			
		50mg	白	カプセル	○			
	ネオドパストン配合錠L100	合剤	肌色	素錠	○			
	ネキシウムカプセル	20ｍｇ	灰紫～青	カプセル	○			
	ネキシウム懸濁用顆粒分包	２０ｍｇ	白～うすい黄	顆粒	△	△	55℃のお湯では安定性が不明	常温の水で懸濁させる
		１０ｍｇ	白～うすい黄	顆粒	△	△	55℃のお湯では安定性が不明	常温の水で懸濁させる
	ネクサバール錠	200ｍｇ	赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ネシーナ錠	6.25mg	微赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		12.5mg	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ネルボン錠	5mg	白	素錠	○			
	ノービア錠	100mg	クリーム	カプセル	○			
	ノアルテン錠	5mg	白	素錠	○			
	ノイキノン錠	10mg	黄	素錠	○			
	ノイロトロピン錠	４Ｕ	オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ノイロビタン配合錠	合剤	淡紅	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ノクサフィル錠	100mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×		腸溶性、粉砕不可	
	ノックビン原末		白	粉末	○			
	ノバミン錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ノリトレン錠	10mg	淡オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		25mg	淡オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ノルバスクOD錠	2.5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
		5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
	ノルバデックス錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ハーフジゴキシンKY錠	0.125mg	淡黄	素錠	○			
	パーロデル錠	2.5mg	白	素錠	△	△	光、熱に不安定	常温の水で懸濁させる
	バイアスピリン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	腸溶性、粉砕不可	アスピリン末への変更
	バイシリンG顆粒	40万単位	ピンク	顆粒	○			
	ハイゼット細粒	20%	白	細粒	○			
	ハイドレアカプセル	500mg	ピンク	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	ハイボン錠	20mg	オレンジ	素錠	○			
	パキシル錠	10mg	淡ピンク	素錠	○			
	バクシダール錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	バクタ配合顆粒	合剤	白	顆粒	○			
	バクタ配合錠	合剤	白	素錠	○			
	バスタレルＦ錠	3mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	バップフォー錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	パナルジン細粒	10%	白	細粒	×	×		パナルジン錠またはクロピドグレル錠へ変更
	パナルジン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	バナン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	バナンドライシロップ	5%	淡オレンジ	ドライシロップ	○			
	バフセオ錠	150mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		300mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	バラクルード錠	0.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	バラシクロビル錠「SPKK」	500mg	白～微黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×			調剤室で粉砕して投与
	パラミヂンカプセル	300mg	黄白	カプセル	○			
	パリエット錠	10mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更
	バリキサ錠	450mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△		催奇形性、発がん性	曝露防止策が必要
後発	バルサルタン錠「サンド」	40mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		80mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ハルシオン錠	0.25mg	青	素錠	○			
	バルトレックス錠	500mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		
後発	バルプロ酸Na錠「DSP」	100mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	バルプロ酸Na除放B錠「トーワ」	200mg	白	糖衣錠	×	×	徐放性、粉砕不可	バレリンシロップへ変更
	ハルナールD錠	0.2mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	パルモディア錠	0.1mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	バレリン錠	100mg	白	糖衣錠	×	×		バレリンシロップへ変更
後発	パロキセチン錠「DSEP」	10mg	帯紅白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	パンクレアチン		淡茶	粉末	○			
	パンスポリンＴ錠	200mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	パントシン散	20%	白	粉末	○			
	パントシン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		パントシン散へ変更
	パンビタン末		黄	粉末	○			
	ピーゼットシー錠	2mｇ	白	糖衣錠	○			
	ピートル顆粒分包	500mg	茶	顆粒	×	○	最小通過サイズ14Fr	
	ビ・シフロール錠	0.125mg	白	素錠	○			
		0.5mg	白	素錠	○			
	ビオフェルミン配合散	合剤	白	粉末	○			
	ビオフェルミン錠剤		白	素錠	○			
	ビオフェルミンＲ散		白	粉末	△	△	55℃のお湯で懸濁すると耐性乳酸菌数が減少する	常温の水で懸濁させる
	ピクシリンカプセル	250mg	赤/黄	カプセル	○			
後発	ビクロックス錠	200mg	白	素錠	○			
後発	ピコスルファートNa錠「サワイ」	2.5mg	白	素錠	○			
	ヒスロン錠	5mg	白	素錠	○			
	ヒスロンH錠	200mg	白	素錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	ビソプロロールフマル酸塩錠「トーワ」	0.625mg	白	素錠	○			
後発		2.5mg	白	素錠	○			
後発	ビソプロロールフマル酸塩錠「日医工」	0.625mg	白	素錠	○			
後発		2.5mg	白	素錠	○			
	ビソルボン細粒	2%	白	細粒	○			
後発	ピタバスタチンCa・OD錠「トーワ」	1mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	ビタメジン配合カプセルB25	合剤	ｸﾘｰﾑ/赤	カプセル	○			
	ヒダントールF配合錠	合剤	白	素錠	○			
	ピドキサール錠	10mg	白	糖衣錠	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉砕すれば投与可
		30mg	白	糖衣錠	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉砕すれば投与可
	ビビアント錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ビブラマイシン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ビプレッソ徐放錠	５０ｍｇ	うすい黄みの赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ヒポカカプセル	15mg	黄	カプセル	×	×		他のCa拮抗剤へ変更
	ビムパット錠	50ｍｇ	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		100mg	濃黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ピメノールカプセル	100mg	白	カプセル	○			
後発	ピモベンダン錠「TE」	1.25mg	黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ビラノア錠	20ｍｇ	白	素錠	○			
	ビラノアOD錠	20ｍｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
	ピラマイド原末		白	粉末	○			
	ヒルナミン錠	5mg	白	糖衣錠	○			
		25mg	白	糖衣錠	○			
	ピレスパ錠	200mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ピレチア細粒	10%	白	細粒	○			
	ピレチア錠	25mg	肌	糖衣錠	○			
	ファスティック錠	30mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		90mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ファモチジンD錠「サワイ」	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	ファモチジンOD錠「トーワ」	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ファロム錠	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ファロムドライシロップ小児用	10%	黄	ドライシロップ	○			
	フィコンパ錠	2mg	橙	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		4mg	赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ブイフェンド錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	フェアストン錠	40mg	白	素錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	フェキソフェナジン塩酸塩錠「SANIK」	60mg	淡橙	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	フェキソフェナジン塩酸塩DS「トーワ」	5%	白	ドライシロップ	○			
	フェノバール散	10%	淡紅	粉末	○			
	フェノバール錠	30mg	白	素錠	○			
後発	フェブキソスタット錠「DSEP]	10mg	白色～微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		20mg	白色～微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	フェブリク錠	10mg	白色～微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	フェマーラ錠	2.5mg	黄	素錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	フェロ・グラデュメット錠	105mg	赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		フェロミア顆粒に変更
	フェロベリン配合錠	合剤	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	フェロミア顆粒	8.3%	淡緑	顆粒	○			
	フェロミア錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く、フェロミア顆粒の方が投与しやすい	病棟で破砕して投与可or長時間放置する
	フオイパン錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	フォリアミン散	10%	黄	粉末	○			
	フォリアミン錠	5mg	黄	素錠	○			
	ブスコパン錠	10mg	白	糖衣錠	○			
	フスタゾール糖衣錠	10mg	ピンク	糖衣錠	○			
	プラザキサカプセル	75mg	淡青/黄白	カプセル	×	×	粉砕、経管いずれも不適（AUC上昇）	他のDOAC（エリキュースなど）に変更
		110mg	淡青/淡青	カプセル	×	×	粉砕、経管いずれも不適（AUC上昇）	他のDOAC（エリキュースなど）に変更
	フラジール内服錠	250mg	白	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ブラダロン錠	200mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
後発	プラバスタチンNa錠「トーワ」	5mg	白色	素錠	○			
後発		10mg	微紅色	素錠	○			
	プラビックス錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
		75mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
後発	プラミペキソール塩酸塩OD錠「トーワ」	0.125mg	淡赤	口腔内崩壊錠	○			
	フランドル錠	20mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉砕不可	フランドルテープに変更
	プリジスタナイーブ錠	800mg	暗赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	フリバスOD錠	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		75mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	プリミドン細粒	99.50%	白	細粒	○			
	プリモボラン錠	5mg	白	素錠	○			
	プリリンタ錠	60mg	ごくうすい黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	プリンペラン錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	フルイトラン錠	2mg	ピンク	素錠	○			
後発	フルコナゾールカプセル「サワイ」	100mg	橙	カプセル	○			
後発	フルコナゾールカプセル「タカタ」	100mg	緑/白	カプセル	○			
	プルゼニド錠	12mg	あずき	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	フルダラ錠	10mg	淡黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	フルツロンカプセル	100mg	ピンク/白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	フルニトラゼパム錠「アメル」	1mg	帯青白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		2mg	帯青白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ブルフェン錠	100mg	白	糖衣錠	○			
	フルメジン糖衣錠	0.5mg	淡オレンジ	糖衣錠	○			
後発	プレガバリンOD錠「KMP」	25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	プレガバリンOD錠「ファイザー」	25mｇ	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	プレタールOD錠	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	プレディニン錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	プレディニンOD錠	50mg	白	素錠	○			
	プレドニゾロン散「タケダ」	1%	白	粉末	○			
後発	プレドニゾロン錠「旭化成」	1mg	白	素錠	○			
	プレドニン錠	5mg	白	素錠	○			
	プレマリン錠	0.625mg	白	糖衣錠	△	△	砕く、吸湿性あり	病棟で破砕して投与可
	プレミネントLD錠	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	プログラフカプセル	0.5mg	黄	カプセル	○			
		1mg	白	カプセル	○			
	プログラフ顆粒	0.2mg	白	顆粒	○			
	プロサイリン錠	20μg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	プロスタール錠	25mg	微黄	素錠	○			
	プロスタグランジンE2錠「科研」	0.5mg	淡黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	プロセキソール錠	0.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	腸溶性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	フロセミド錠「テバ」	20mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		40mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	フロセミド錠「NIG」	10mg	微赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	フロセミド錠「NP」	40mｇ	微赤	素錠	○			
後発	プロチゾラムOD錠「タイヨー」	0.25mg	白	素錠	○			
	プロパジール錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	プロバリン原末		白	粉末	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	プロプレス錠	4mg	橙	素錠	○			
		8mg	淡橙	素錠	○			
	プロマックD錠	75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	フロモックス小児用細粒	100mg	ピンク	細粒	○			
	フロモックス錠	100mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	フロリネフ錠	0.1mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ベイスンOD錠	0.2mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
		0.3mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
	ベオーバ錠	50mg	淡緑	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ベゲタミンA配合錠	合剤	ピンク	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ベゲタミンB配合錠	合剤	白	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ベサコリン散	5%	白	粉末	○			
	ベザトールSR錠	200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	リピディルへ変更
	ベサノイドカプセル	10mg	黄/赤褐	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	ベザフィブラートSR錠「サワイ」	200mg	白～帯黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×		徐放性、粉砕不可	リピディルへ変更
	ベシケアOD錠	2.5mg	白	素錠	○			
		5mg	黄	素錠	○			
	ベタナミン錠	25mg	白	素錠	○			
	ベタニス錠	25mg	褐色	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		50mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	ベニジピン塩酸塩錠「NIG」	4mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ベネシッド錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ベネット錠	2.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		17.5mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		75mｇ	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ベタナミン錠	25mg	白	素錠	○			
後発	ベタヒスチンメシル酸塩錠「トーワ」	6mg	白	素錠	○			
後発		12mg	白	素錠	○			
	ヘパアクト配合顆粒	4.5g	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ベプリコール錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ペリアクチン散	1%	白	粉末	○			
	ペリアクチン錠	4mg	白	素錠	○			
	ベリキューボ錠	2.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		5mｇ	褐赤色		○			
		10mg	黄橙色		○			
	ベリチーム配合顆粒	合剤	淡い茶	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ペルサンチンLカプセル	150mg	白/ピンク	カプセル	×	○	内容物が徐放性、最小通過サイズ12Fr	
	ペルサンチン錠	25mg	赤	糖衣錠	○			
		100mg	白	糖衣錠	○			
	ペルジピンLAカプセル	20mg	白	カプセル	×	○	内容物が徐放性、最小通過サイズ12Fr	
	ペルジピン散	10%	黄	粉末	○			
	ベルソムラ錠	15mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		20mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ヘルベッサーRカプセル	100mg	白	カプセル	×	○	内容物が徐放性	
	ヘルベッサー錠	30mg	白	素錠	原則×	原則×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →やむをえず投与する場合は調剤時に粉砕すれば投与可 →14Fr以上ならヘルベッサーR投与可
	ペルマックス錠	250μg	緑	素錠	△	△	粉砕不可（吸入毒性、眼刺激性あり）	曝露防止策が必要
	ベンザリン細粒	1%	白	細粒	○			
	ペンタサ錠	250mg	灰白～淡灰黄	素錠	×	×	放出制御製剤、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		500mg	灰白～淡灰黄	素錠	×	×	放出制御製剤、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ペンタジン錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ホクナリンドライシロップ小児用	0.1%	白	ドライシロップ	○			
	ホスミシン錠	500mg	白	素錠	○			
	ホスミシンドライシロップ		白	ドライシロップ	○			
	ホスリボン配合顆粒	合剤	白～微黄白	顆粒	○			
	ホスレノールOD錠	250mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		500mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ホスレノール顆粒	250mｇ	白～微帯黄白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ボナロン経口ゼリー	35mｇ	微黄	ゼリー剤	○			
	ボナロン錠	5mg	白	素錠	○			
		35mg	白	素錠	○			
	ポラキス錠	2mg	白	素錠	○			
後発	ポラプレジンクOD錠「サワイ」	75mg	白色～微黄白色	口腔内崩壊錠	○			
	ポララミン錠	2mg	白	素錠	○			
後発	ポリスチレンスルホン酸Caゼリー20%	25g	淡黄白～淡黄	ゼリー剤	×			カリメート経口液20%へ変更
	ホリゾン錠	5mg	白	素錠	○			
	ポリフル錠	500mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○		調剤室での粉砕不適、吸湿性	
	ボルタレンＳＲカプセル	37.5mg	白	カプセル	×	○	内容物が徐放性、最小通過サイズ12Fr	ボルタレン錠/坐薬へ変更
	ボルタレン錠	25mg	オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ボンゾール錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ポンタールカプセル	250mg	白	カプセル	×	×		他のNSAIDsに変更
	マーズレンＳ配合顆粒	合剤	青	細粒	○			
	マーロックス懸濁用配合顆粒	合剤	白	顆粒	○			
	マイスタン錠	5mg	淡オレンジ	素錠	○			
	マイスリー錠	5mg	淡オレンジ	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	マグラックス錠	330mg	白	素錠	○			
		500mg	白	素錠	○			
	マスーレッド錠	25mg	灰黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		75mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	マドパー配合錠	合剤	ピンク	素錠	△	△		酸化マグネシウムと同一溶液で懸濁しない （レボドパの力価が低下する）
	マブリン散	1%	白	粉末	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	マリゼブ錠	12.5mｇ	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		25mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ミオナール錠	50mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ミカルディス錠	40mg	白	素錠	○			
	ミグシス錠	5mｇ	白	素錠	○			
後発	ミグリトールOD錠「サワイ」	25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ミケラン錠	5mg	白	素錠	○			
	ミコブティンカプセル	150mg	赤褐	カプセル	○			
	ミニリンメルトOD錠	50mg	白	口腔内崩壊錠	△			原則として舌下投与、経管投与の推奨せず →他剤を検討（デスモプレシン点鼻スプレー等）
後発	ミノサイクリン塩酸塩錠「サワイ」	50mg	黄～暗黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ミノサイクリン塩酸塩錠顆粒「サワイ」	2%	淡橙	顆粒	○			
	ミノマイシン顆粒	2%	淡橙	顆粒	○		ミノマイシン錠の方が簡易懸濁しやすい	
	ミノマイシン錠	50mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	ミチグリニドCaOD錠「フソー」	10mg	白	素錠	○			
	ミネブロOD錠	2.5mg	微黄白	口腔内崩壊錠	○			
	ミネブロ錠	1.25mg	微黄白色	素錠	○			
		2.5mg	微黄白色	素錠	○			
		5mｇ	微赤白色	素錠	○			
	ミヤＢＭ細粒		白	細粒	○			
	ミラペックスLA錠	0.375mg	白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	ビ・シフロールへ変更
		1.5mg	白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	ビ・シフロールへ変更
後発	ミルタザピン錠「トーワ」	15mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ミルタザピンOD錠「トーワ」	15mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	ミルタザピンOD錠「DSEP」	15mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		30mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	ムコソルバンLカプセル	45mg	黄/白	カプセル	×	×	徐放性、粉砕不可	アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠へ変更
	ムコソルバンL錠	45mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠へ変更
	ムコソルバン錠	15mg	白	素錠	○			
	ムコダインドライシロップ	50%	白	ドライシロップ	○			
	ムコダイン錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	メイアクトMS小児用細粒	10%	オレンジ	細粒	○			
	メイアクトMS錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	メイラックス錠	1mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	メインテート錠	0.625mg	白	素錠	○			
		2.5mg	白	素錠	○			
	メキシチールカプセル	50mg	黄/オレンジ	カプセル	○			
		100mg	白/薄黄赤	カプセル	○			
後発	メコバラミン錠「トーワ」	500μg	白	糖衣錠	○			
後発	メサラジン錠「トーワ」	５００ｍｇ	灰白～淡灰黄の斑点入りの白～淡黄	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	メジコン散	10%	白	粉末	○			
	メジコン錠	15mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	メスチノン錠	60mg	橙	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	メソトレキセート錠	2.5mg	黄	素錠	○			
	メタクト配合錠LD	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	メタクト配合錠HD	合剤	帯黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	メチコバール細粒	0.1%	ピンク	細粒	○			
	メチコバール錠	500μg	白	糖衣錠	○			
後発	メチルエルゴメトリン錠「あすか」	0.125mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	メトグルコ錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	メトクロプラミド錠「テバ」	5mｇ	白	素錠	○			
	メトピロンカプセル	250mg	クリーム	カプセル	○			
後発	メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」	250mg	白～帯黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	メトホルミン塩酸塩錠「TE」	500mg	微黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	メトリジン錠	2mg	白	素錠	○			
	メドロール錠	2mg	淡紅	素錠	○			
	メバロチン錠	5mg	白	素錠	○			
		10mg	淡ピンク	素錠	○			
	メプチン錠	50μg	白	素錠	○			
	メマリー錠	5mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	メマリーOD錠	5mg	淡赤白	口腔内崩壊錠	○			
		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	メラトベル顆粒小児用	0.20%	白	顆粒	○			
	メリスロン錠	6mg	白	素錠	○			
	メルカゾール錠	5mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	モービック錠	10mg	黄	素錠	○			
後発	モサプリドクエン酸塩錠「ファイザー」	5mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	モビコール配合内用剤LD	合剤	白	粉末	○			
	ユーゼル錠	25mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ユーロジン錠	1mg	白	素錠	○			
	ユニシア配合錠LD	合剤	淡黄	素錠	○			
	ユニシア配合錠HD	合剤	淡赤	素錠	○			
	ユベラNカプセル	100mg	白/ピンク	カプセル	○			
	ユベラ顆粒	20%	白	顆粒	○			
	ユベラ錠	50mg	オレンジ	糖衣錠	×	×		ユベラNカプセルへ変更
	ユリーフ錠	4mg	白	素錠	○			
	ユリーフOD錠	2mg	淡黄赤	素錠	○			
		4mg	淡黄赤	素錠	○			
	ユリノーム錠	50mg	白	素錠	○			
	ヨウ化カリウム		白	粉末	○			
	ラキソベロン錠	2.5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ラグノスゼリー分包	16.05g	淡褐色～褐色	ゼリー剤	○			
	ラシックス細粒	4%	白	細粒	○			
	ラシックス錠	20mg	白	素錠	○			
		40mg	白	素錠	○			
	ラジレス錠	150mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ラステットSカプセル	25mg	淡オレンジ	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	ラスビック錠	75mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ラツーダ錠	20ｍｇ	白～帯黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ラックビー微粒N		白	粉末	○			
	ラニラピッド錠	0.05mg	白	素錠	○			
後発	ラベプラゾールNa錠「トーワ」	10mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更
後発	ラベプラゾールNa錠「日医工」	10mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更
	ラボナ錠	50mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ラミクタール錠	25mg	白	素錠	○			
		100mg	白	素錠	○			
	ラミシール錠	125mg	白	素錠	○			
後発	ラメルテオン錠「武田テバ」	8mg	うすい橙みの黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ラモトリギン錠「トーワ」	100mg	白	素錠	○			
後発	ランソプラゾールOD錠「日医工」	15ｍｇ	帯黄白	口腔内崩壊錠	×	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
後発	ランソプラゾールOD錠「タイヨー」	30mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	×	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
	リーゼ錠	5mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リーバクト配合顆粒	合剤	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	リーマス錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		200mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	リアルダ錠	1200mｇ	赤褐	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	放出制御製剤、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	リウマトレックスカプセル	2mｇ	黄	カプセル	○			
	リオナ錠	250mｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リクシアナ錠	15mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		30mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		60mｇ	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リクシアナOD錠	15mg	微黄白	素錠	○			
		30mg	微赤白	素錠	○			
		60mg	微黄白	素錠	○			
	リザベンカプセル	100mg	白	カプセル	○			
	リスパダールOD錠	1mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	リスパダール細粒	1%	白	細粒	○			
後発	リスペリドンOD錠「アメル」	1mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	リズミック錠	10mg	白	素錠	○			
	リスモダンR錠	150mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	リスモダンカプセルへ変更
	リスモダンカプセル	50mg	青/緑	カプセル	○			
	リタリン錠	10mg	白	素錠	○			
後発	リネゾリド錠「サワイ」	600mg	白～微黄白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リパクレオン顆粒	300mg	褐色	顆粒	×	×	腸溶性、胃酸で失活	
	リバロOD錠	1mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	○			
		2mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	○			
	リバロ錠	1mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リピディル錠	80mg	白	素錠	○			
	リピトール錠	5mg	淡ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リファジンカプセル	150mg	青/赤	カプセル	○			
	リフキシマ錠	200mg	淡赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リフヌア錠	45mg	ピンク	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リベルサス錠	3mg	白～淡黄	素錠	△		砕く	病棟で破砕して投与可
	リボトリール細粒	0.1%	白	細粒	○			
	リボトリール錠	0.5mg	白	素錠	○			
	リポバス錠	5mg	白	素錠	○			
	リマチル錠	100mg	白	糖衣錠	×	×	粉砕するとメルカプタン臭あり、吸湿で成分分解	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	リマプロストアルファデクス錠「日医工」	5μｇ	白	素錠	○			
	硫酸亜鉛散(院内製剤)	20%	白	粉末	○			
	硫酸アトロピン		白	粉末	○			
	硫酸ポリミキシンB錠	10万単位	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	硫酸マグネシウム		白	粉末	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	リリカカプセル	25mg	白	カプセル	○			
		75mg	白/赤	カプセル	○			
	リリカOD錠	25mg	白	素錠	○			
		75mg	白	素錠	○			
	リルテック錠	50ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リン酸ジヒドロコデイン散「ホエイ」	1%	白	粉末	○			
	リンゼス錠	0.25mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	リンラキサー錠	125mg	白	素錠	○			
	ルーラン錠	4mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ルジオミール錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ルネスタ錠	１ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ルパフィン錠	10mg	淡黄赤	素錠	○			
	ルプラック錠	4mg	白	素錠	○			
		8mg	白	素錠	○			
	ルボックス錠	25mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ルリッド錠	150mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レイアタッツカプセル	150mg	青/淡青	カプセル	○			
	レキサルティ錠	1mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		2mg	淡緑	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レキサルティOD錠	1mg	淡黄	素錠	○			
	レキソタン細粒	1%	白	細粒	○			
	レキソタン錠	2mg	白	素錠	○			
		5mg	淡ピンク	素錠	○			
	レクサプロ錠	10mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		20ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レクチゾール錠	25mg	白	素錠	○			
	レグパラ錠	25mg	淡緑黄緑	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レザルタス配合錠LD	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	レザルタス配合錠HD	合剤	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	レスタミンコーワ錠	10mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	レスプレン錠	20mg	白	糖衣錠	○			
	レスミット錠	5mg	白	糖衣錠	○			
	レスリン錠	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レダマイシンカプセル	150mg	白/灰	カプセル	○			
	レトロビルカプセル	100mg	白	カプセル	○			
	レナジェル錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レナデックス錠	4mg	白	素錠	○			
	レニベース錠	2.5mg	淡ピンク	素錠	○			
	レニベース錠	5mg	淡ピンク	素錠	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	レパグリニド錠「サワイ」	0.25mg	淡赤	素錠	○			
	レバチオ錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	レバミピド錠「Me」	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	レバミピドOD錠「明治」	100mg	白	素錠	○			
	レブラミドカプセル	5ｍｇ	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	レベチラセタム錠「トーワ」	500mg	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レベトールカプセル	200mg	白	カプセル	△	△	催奇形性あり	曝露防止策が必要
後発	レボセチリジン塩酸塩錠「武田デバ」	5ｍｇ	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レボトミン散	10%	白	粉末	○			
後発	レボフロキサシン錠「ＤＳＥＰ」	250ｍｇ	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レミッチOD錠	2.5μｇ	やわらかい紫みの赤～くすんだ赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レメロン錠	15ｍｇ	黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レルミナ錠	40mg	淡黄赤	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	レンドルミンD錠	0.25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ローコール錠	20mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
		40mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ロイケリン散	10%	淡黄	粉末	○			
	ロキソニン錠	60mg	淡ピンク	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ロキソプロフェンNa錠「サワイ」	60mg	ごくうすい紅	素錠	△	△		病棟で破砕して投与可
後発	ロキソプロフェンNa錠「トーワ」	60ｍｇ	ごくうすい紅	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ロキソプロフェンナトリウム錠「日医工」	60ｍｇ	うすい紅	素錠	○			
	ロケルマ懸濁用散分包	5g	白～灰	粉末	○			
	ロコルナール錠	100mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	ロサルタンカリウム錠「サンド」	25mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	△		砕く	病棟で破砕して投与可
	ロゼレム錠	8mg	淡黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ロスバスタチン錠「DSEP」	2.5mg	薄い赤みの黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発		5ｍｇ	薄い赤みの黄	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
後発	ロスバスタチンOD錠「トーワ」	2.5mg	淡黄白	口腔内崩壊錠	○			
	ロドピン細粒		白	細粒	×	×		ロドピン錠に変更
	ロドピン錠	25mg	白	糖衣錠	○			
	ロナセン錠	4mg	白	素錠	○			
	ロペミンカプセル	1mg	白	カプセル	○			
	ロペミン小児用細粒	0.05%	淡オレンジ	細粒	○			
後発	ロペラミド塩酸塩カプセル「タイヨー」	1mg	白	カプセル	×	×		ロペミン小児用細粒へ変更
後発	ロペラミド塩酸塩カプセル「NIG」	1mg	白	カプセル	×	×		ロペミン小児用細粒へ変更
後発	ロラゼパム錠「サワイ」	0.5mg	白	素錠	○			
	ロラメット錠	1.0mg	白	素錠	○			
	ロルカム錠	4mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			
	ロレルコ錠	250mg	白	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	○			

簡易懸濁法　東京医療センター 薬剤部のデータベース

2024.3.1更新

8Fr: ﾆｭｰｴﾝﾃﾗﾙﾌｨｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾁｭｰﾌﾞ、14Fr:ｾｲﾗﾑｻﾝﾌﾟﾁｭｰﾌﾞ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ワーファリン錠	0.5mg	黄	素錠	○			
		1mg	白	素錠	○			
	ワイテンス錠	2mg	白	素錠	○			
後発	ワイドシリン細粒	20%	桃	細粒	○			
	ワイパックス錠	0.5mg	白	素錠	○			
	ワソラン錠	40mg	黄	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ワンアルファ錠	0.5μg	白	素錠	○			
	ワントラム錠	100mg	白～灰	ﾌｨﾙﾑｺｰﾃｨﾝｸﾞ	×	×	徐放性、粉砕不可	

【可否に関して】　○：簡易懸濁法で投与可　△：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要　×：簡易懸濁法で投与不可

【試験方法】
①簡易懸濁用ボトルに55℃の温湯20mLと対象薬剤を1剤投入し、1分間振とうする。
②1分間振とうしても薬剤が溶けていない場合、更に1分間振とうする。
③②を実施しても溶けない場合、10分間静置する。
④③を実施しても溶けない場合、薬剤を破砕してから①-③を実施する。

【補足】

・病棟で破砕して投与可…錠剤が水で「ぬれ」やすくするために軽く砕けば投与可能
・調剤室で粉砕すれば投与可…粉の状態になるまで錠剤をつぶす（粉砕）することで投与可能
（本表では「破砕」と「粉砕」とを上記のように使い分けています。）
・診療化成株式会社製の簡易懸濁用ボトルを利用して試験した結果を記載しています。

・抗がん剤を簡易懸濁法で投与する時は、飛散または漏出より保護するため、二重手袋、ガウン、眼・顔面防護具、呼吸器防護具を使用して下さい。また、経管注入時には、環境中に飛散または漏出させる危険性を低減するため、シリンジと経管チューブの接続部をガーゼで覆い、注入時は、周囲への飛散を避けるために、薬の注入前に他の液で開通を確認後にゆっくり注入し、注入中に抵抗があった場合は、無理に注入を継続せず、再度開通性を確認するなど抵抗がない状態で実施して下さい。経管注入に使用した物品を廃棄する時は、ジッパー付きプラスチックバッグに入れてから専用の容器に入れて廃棄して下さい。
(参考：日本がん看護学会,日本臨床腫瘍学会,日本臨床腫瘍薬学会 編集『がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン 2019年版』金原出版株式会社.2019.p75-76)

・経皮吸収性、眼刺激性、吸入毒性のある薬剤をやむを得ず投与する場合は、取り扱いに十分に注意して実施して下さい。

【本データベースについて】

・公開している情報は、東京医療センター（当院）において簡易懸濁法を適用する際の各薬剤の対処法についてまとめたものです。当院薬剤部では、本データを参考にして院内の業務に活用しております。
また、地域医療連携の一環として、薬局等で退院後も経管投与を継続されている患者の皆様に対しての服薬支援にもお役立ていただけるよう、ホームページ上に一般公開しております。
・原則として当院薬剤部においてチューブ通過性を検討した報告であり、簡易懸濁された薬剤を臨床的に使用した場合の有効性・安全性の評価は行っていません。医療従事者の方々が本データを活用される際には各自の判断と責任のもとご利用ください
なお、業務以外の目的での利用や無断転載はご遠慮ください。
・本データベースへのリンクを希望される際は、本pdfファイルへ直接リンクするのではなく、本pdfを掲載している当院薬剤部ホームページへのリンクとしてください。
（なお、リンクを貼られる際は当院薬剤部へご一報ください）
・赤字で記載している薬剤は、ISO規格のチューブ(ニューエンテラルフィーディングチューブ　ISO　80369-3 ENFit（製造販売元：日本コヴィディエン株式会社）)を使用した試験結果です。